

激甚化・頻発化する大規模水害に対する迅速な避難に向けて 大阪府域の首長が集結し、意見交換を実施！

【令和3年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議（大阪府域）を開催】



大規模水害に対する迅速な避難に関する意見交換

◆「河川管理者からのホットライン」および「広域災害の情報共有とタイミング」を議題として、4市町の首長による意見交換を行いました。

議題①：河川管理者からのホットライン

住民への避難指示や避難所の開設準備等がより効率的かつ迅速に実施できるように、河川管理者から出されるホットラインの適切なタイミング等について意見交換を行いました。

★「早めのタイミング」で情報提供が重要！

- ・ 避難判断水位超過の時点で、ホットラインをいただいているが、水位の予測等になるべく**早い段階で情報提供**をいただきたい。
- ・ よりリアルな避難の**タイミング**や行政の**果たさなければならない役割**について、専門家の皆様の意見をいただきたい。
- ・ **高台への避難**を行う上で、**幹線道路にいかにかアクセスするかが重要**であるため、訓練等を通じて**関係機関と連携**した対応を行っていききたい。
- ・ 上流側である**京都側の情報提供**も頂きたい。
- ・ 洪水により瞬く間に浸水してしまうため、**早めの情報提供**を頂きたい。

議題②：広域災害における情報共有とタイミング

近年、激甚化・頻発化する大規模氾濫による水害を想定し、広域災害の発生に対応できるような情報共有と、そのタイミングについて意見交換を行いました。

★専門家の「避難判断」と市町への「助言」が重要！

- ・ 1市町ではなく、自治体を跨ぐ被害が想定されるため、避難情報の齟齬による混乱を避ける意味でも**広域的に避難判断**が必要がある。
- ・ 水位ではなく降雨量で避難を判断するためには、**非常に高度で専門的な判断が必要**であることから、**国が主導**し、情報提供をいただきたい。
- ・ 避難判断の**空振り**によって**市民の理解が得られない**ことが課題であり、広域的な避難判断を行う際は、**専門家の必要な判断**があれば、仮に空振ったとしても**市民の理解が得られる**のではないかと。
- ・ 広域的な避難に向けては、**国・府の協力なリーダーシップ**を発揮していただきたい。

「淀川チャンネルと最近の気象」に関する講演

◆気象予報士で、日テレNEWS24気象キャスターとして活躍されている藤森涼子氏より、近年の全国の洪水・土砂災害や最近の気象状況や、**淀川チャンネル**という**淀川沿いに発生しやすい降雨帯**、**気候変動による将来の気象**について、ご講演いただきました。



淀川管内水害に強い地域づくり協議会の規約改正、活動報告など

- ◆協議会の構成員追加（鉄道関係者）等に伴う**規約改正**、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく減災に係る**取組方針の改定**を行いました。
- ◆協議会における**令和2年度の活動内容**を確認するとともに、令和3年6月に実施した「**住民の水害に対する意識調査**」の調査結果及び得られた考察（経年的な変化・傾向や今後の課題）を共有しました。

◆開催概要

日 時：令和3年7月13日（火）15:00～16:40
場 所：WEB方式（Zoom）による開催
参加者：19機関が出席

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861

